

## 「新学部について」

### 新学部の特色

#### (経営学部)

- ・ 山陰初の経営学領域であること
- ・ 環日本海交流を見据え国際経営領域を設置したこと
- ・ 行政職員やNPO等を起業できる人材育成を目指した、地域経営領域を設置したこと

#### (環境学部)

- ・ 今後企業等に求められる環境問題に取り組む実務者の育成
- ・ 鳥取県のとっとり発グリーンニューディールのコンセプトとも合致し実践できる人材を育成できること。
- ・ 教職課程を組み込み、中高の理科の教員資格を取得できるカリキュラムも検討している。

### 就職見込み

#### (経営学部)

- ・ 小売業、商社、製造業、サービス業、銀行・保険・証券などの金融業、公務員など広い分野で大学で学んだ内容が活かせることが出来る。また地元企業が必要とする経営ノウハウを持った人材を育成する。

#### (環境学部)

- ・ 環境保護やエネルギー関連企業、廃棄物処理企業、環境計画関連企業、農業関連企業、公務員等が考えられ、その他製造業、エネルギーなど就職先も職種・業種とも多岐にわたると考えられる。

### 就職支援策

#### (経営学部)

- ・ 現在ある資格取得支援講座を見直し、税理士、公認会計士、中小企業診断士、FP等の資格取得に向け、1年生から課外講座等の支援プログラムを設けたい。

#### (環境学部)

- ・ ECO 検定や環境管理士、環境計量士、福祉住環境コーディネーターなどの環境関連資格取得の支援。さらには経営学部と連携して、環境経営や環境会計などに対応できる人材の育成環境を整え、就職活動の支援を行いたい。

## 「2 学部への改編理由」

- ・ 環境問題が多様化する中で、「自然環境の保全」と「人間の経済活動」の調和を考えた持続可能な社会の実現が益々重要であると考え。この両分野の問題を解明し、考究していくためには環境学系と経営学系の 2 学系で探求することが必要である。はっきりと 2 学部に分け教育内容をカリキュラムとして区別し、人材の養成を行うが、学生は両学部の科目を選択履修できる幅を持たせ、その結果として文理融合を図る。
- ・ 改革検討委員会のアンケートによると「現在の学科の認知度」は生徒・保護者はきわめて低い結果であったが、現在の環境情報学部から環境学部と経営学部と明確にすることで認知度を大幅に上げることが期待できる。
- ・ 経営系学部は山陰地域にはない学部であり、鳥取県内の大学進学者も多く県外に進学している分野でもあり（商・経系 417/2518）、県内・山陰地域での入学者が期待できる。
- ・ 先ほどのアンケート調査においても、経済・経営系は生徒・保護者とも学びたい、学ばせたい分野の上位にあり、企業経営者に対する「鳥取県における人材育成で必要な分野」では経営・商業が 1 位となっている。
- ・ 「なぜ 2 学部でなければならないのか」  
1 学部 2 学科 276 名の定員で理系・文系の学科をそれぞれ設置した場合最低 35 名の教員を配置することが文部科学省の大学設置基準に示されているが、これでは各学科での学習領域や基礎となる教養科目担当の教員配置を考えると十分な教育はおぼつかない。

## 「入学者の確保」

- ・ 私立大学の場合であるが、全国の定員充足率は経営系が 91%、環境系が 88.8%となっている。充足率が 100%以上の大学は都会地が多く、やはりこの分野においても地方の大学は苦戦をしている。さらに、入学定員 800 名未満の小規模私立大学の定員充足はきわめて厳しい状態にある。また、リクルートの分析や河合塾の入試結果速報によると、受験生の地元志向と安全志向が強まっており、そのことを考えると、学部・学科の改編のみでは定員充足することは難しく、授業料の値下げとなる設置形態の公立大学に変更する必要がある。特に大学のアンケートから鳥取県内の保護者、高校教員は学費が下がることと、公立化を望んでいる。
- ・ 公立大学の場合であるが、経営系の学部では充足率が平均で 105.3%となっている。高校訪問時の反応もよく、鳥取県内はもとより、島根県東部、岡山県北部、兵庫県北部からの受験生も多く見込めると考えられる。人材養成を明確に示すことができる学部を設置すれば定員確保は可能である。

学部・学科改編に関する設置学部数の比較検討資料

鳥取環境大学

区分	現行の学部・学科(1学部4学科)	パターン1 (2学部2学科)	パターン2 (1学部2学科)
設置学部	環境情報学部	経営学部	経営・環境学部
学科名	環境政策経営学科 (社会学、法学、経済学)	経営学科 (経済学、工学)	経営学科 (経済学、工学)
入学定員	環境マネジメント学科 (社会学、農学、理学)	環境学科 (農学、理学、工学)	環境学科 (農学、理学、工学)
( )外数:3年次編入定員	建築・環境デザイン学科 (工学)	環境学科 (農学、理学、工学)	環境学科 (農学、理学、工学)
	情報システム学科 (工学)		
収容定員	計 276人(4)	計 276人(4)	計 276人(4)
	1,112人	1,112人	1,112人
大学設置基準による専任教員数	環境政策経営学科 8人 環境マネジメント学科 9人 建築・環境デザイン学科 7人 情報システム学科 7人 大学全体 15人	経営学科 15人 環境学科 16人 大学全体 15人	経営学科 10人 環境学科 10人 大学全体 15人
設置学部・学科の特色	文系から理系と異なる学問領域が多くあり、受験生が希望する学科を選択する場合には、比較的自由に検討することはできる。(大学・学部を選定後は、学科選択の選択肢が多い。)	文系の経営学部と理系の環境学部の2学部にするにより、受験生に学部名から養成する人材の目標を明確に示すことができる。 また、学部を超えて、学生が希望する科目を選択できるようなカリキュラムを編成し、文理融合型の教育を行うことができる。	設置学部名だけでは、受験生に養成する人材目標を明確に示すことは困難である。しかし、同一学部内の学科を超えて学生が希望する文理融合型の教育を行うことができる。

公立大学の学部定員の状況【抜粋】

公立大学				公立大学									
大学名	設置学部名	入学定員	学部定員	現員	専任教員数 (設置基準)	備考	大学名	設置学部名	入学定員	学部定員	現員	専任教員数 (設置基準)	備考
札幌市立大	デザイン学部	80	360	707	74 (32)		福岡県立大	人間社会学部	150	600	1,071	109 (34)	
	看護学部	80	340					看護学部	80	360			
岩手県立大	看護学部	90	380		186 (63)		創路公立大	経済学部	300	1,200	1,412	40 (38)	
	社会福祉学部	90	380	1,961				システム情報科学学部	240	960	1,074	68 (37)	
	ソフトウェア情報学部	160	960					経営経済学部	300	1,200	1,331	42 (43)	
宮城大	総合政策学部	100	420				秋田県立大	システム科学技術学部	240	960	1,695	222 (69)	
	看護学部	90	380		146 (81)			生物資源科学部	150	600			
宮城大	事業構想学部	200	800	1,811			国際教養大学	国際教養学部	150	600	754	58 (35)	
	食産業学部	120	500		77 (47)	09年開設		コンビューター理工学部	240	960	1,103	112 (33)	
新潟県立大	国際地域学部	160	640	492			会津大	文学部	140	590	933	56 (49)	
	人間生活科学部	80	320		109 (72)			国際コミュニケーション学部	60	252			
山梨県立大	国際政策学部	80	340	1,137			群馬県立女子大	経済学部	480	1,920	4,212	97 (92)	
	人間福祉学部	80	340		160 (83)			地域政策学部	420	1,760			
福井県立大	看護学部	100	410				高崎経済大	工学部	262	1,072	1,153	70 (63)	
	経済学部	200	800		276 (202)			文学部	690	2,760	3,250	83 (71)	
福井県立大	生物資源学部	45	285	1,620			前橋工科大	工学部	230	920	944	108 (53)	
	海洋生物資源学部	50	50		80 (60)			文学部	230	920			
静岡県立大	薬学部	120	720				都留文科大	生物資源環境学部	120	480	546	66 (32)	
	食品栄養学部	50	200	2,432				外国学部	430	1,720	2,157	89 (55)	
静岡県立大	国際関係学部	180	720				富山県立大	工学部	480	1,920			
	経営情報学部	100	400		222 (107)			文学部	230	920			
静岡文化芸術大	文化芸術学部	200	800	1,430			石川県立大	生物資源環境学部	120	480			
	デザイン学部	100	400					外国学部	430	1,720			
愛知県立大	外国語学部	340	1,360				神戸市外大	外国学部	430	1,720			
	日本文化学部	100	400	3,126									
愛知県立大	教育福祉学部	90	360										
	情報科学部	90	360										
	看護学部	90	360										

は定員150名以下の学部

公立大学の学部定員の状況【抜粋】

公立大学				公立大学			
大学名	設置学部名	入学定員	学部定員	現員	専任教員数 (設置基準)	備考	備考
滋賀県立大	環境科学部	180	720		74 (32)		
	工学部	150	600	2,405			
京都府立大	人間文化学部	160	600				
	人間看護学部	60	280				
岡山県立大	文学部	100	421		155 (86)		
	公共政策学部	100	412	1,801			
岡山県立大	生命環境学部	204	850				
	保健福祉学部	140	560		168 (84)		
岡山県立大	情報工学部	140	560	1,641			
	デザイン学部	90	360				
県立広島大	人間文化学部	120	480		251 (131)		
	経営情報学部	100	400	2,442			
広島市立大	生命環境学部	165	660				
	保健福祉学部	190	770				
尾道大	国際学部	100	400		187 (153)		
	情報科学部	210	840	1,726			
山口県立大	芸術学部	80	320				
	経営情報学部	200	800	1,357	62 (49)		
高知工科大	芸術文化学部	100	400				
	国際文化学部	110	456	1,383	100 (64)		
高知女子大	社会福祉学部	100	410				
	看護栄養学部	90	390				
高知女子大	工学部	360	1,460	1,861	123 (66)		
	マネジメント学部	100	400				
高知女子大	文化学部	80	330		123 (66)		生活科学部募集停止
	看護学部	80	328	1,010			
高知女子大	社会福祉学部	70	280				
	健康栄養学部	40	120				
島根県立大	総合政策学部	220	910	1,015	51 (32)		
下関市立大	経済学部	450	1,840	2,212	59 (46)		
	文学部	90	360		65		
福岡女子大	人間環境学部	90	360				
	経済学部	450	1,800		129 (107)		
長崎県立大	国際情報学部	140	560	3,054			
	看護栄養学部	100	420				
宮崎公立大	人文学部	200	800	914	33 (26)		
名桜大	国際学群	280	1,150	1,836	86 (70)		
	人間健康学部	175	720				
【鳥取環境大】	環境情報学部	276	276	621	47 (46)		参考

は定員150名以下の学部

平成21年度中四国地方私立大学の学部定員の状況【抜粋】

大学名	学部	学部入学定員	は150名以下	
			学生数 (定員)	専任教員数 (設置基準)
岡山商科大学	法	120		
	経済	120		
	経営	400		
	計	640		
くらしき作陽大学	音楽	130	1,219 (1592)	91 (59)
	子ども教育	80		
	食文化	160		
	計	370		
安田女子大学	文	440	3,581 (3400)	131 (122)
	現代ビジネス	110		
	家政	170		
	薬	130		
	計	850		
徳山大学	経済	230	1,080 (1340)	45 (45)
	福祉情報	70		
	計	300		
四国学院大学	文	220		
	社会福祉	160		
	社会	145		
	計	525		
福山平成大学	経営	100		
	福祉健康	210		
	看護	80		
	計	390		
広島文化学園大学	社会情報	175	1,210 (1375)	89 (61)
	看護	120		
	計	295		
山口学芸大学	教育	50	243 (220)	15 (14)
	計	50		
倉敷芸術科学大学	芸術	100	1,711 (1676)	123 (100)
	産業科学技術	105		
	生命科	215		
	計	420		
中国学園大学	現代生活	80	494 (628)	42 (30)
	子ども	70		
	計	150		
吉備国際大学	社会	210		
	文化財	40		
	保健科	120		
	社会福祉	150		
	心理	60		
	国際環境経営	70		
計	650			